

## (案)

### 一般国道 397 号（仮称）新小谷木橋詳細デザイン検討委員会 設立趣意書

一般国道397号は、岩手県沿岸部と秋田県を結ぶとともに、東北縦貫自動車道や一般国道4号と連結し、地域の生活、産業、観光等を支える重要な路線である。また、岩手県東日本大震災津波復興計画の三陸復興道路整備事業において、「復興支援道路」にも位置付けられている。

本路線のうち、一級河川北上川に架かる小谷木橋は、昭和29年に架橋された橋梁であり、老朽化が進行しているほか、幅員が狭く、車両の安全で円滑な通行に支障をきたしていることから、早期の架替えが求められている。

（仮称）新小谷木橋は、今後長期にわたり、地域の生活や産業活動を支える重要な社会資本であることから、橋梁の整備にあたっては、将来においても地域の人々に親しまれる質の高い景観等の創出に努めることが必要である。

このため、「一般国道397号新小谷木橋（仮称）景観検討委員会」（平成22年度～平成23年度）で決定した（仮称）新小谷木橋の基本コンセプトである「河川空間および遠方の山並みの風景と調和した橋」を踏まえ、周辺景観と調和した橋梁の詳細デザインを検討することを目的として、「一般国道397号（仮称）新小谷木橋詳細デザイン検討委員会」を設置するものである。